

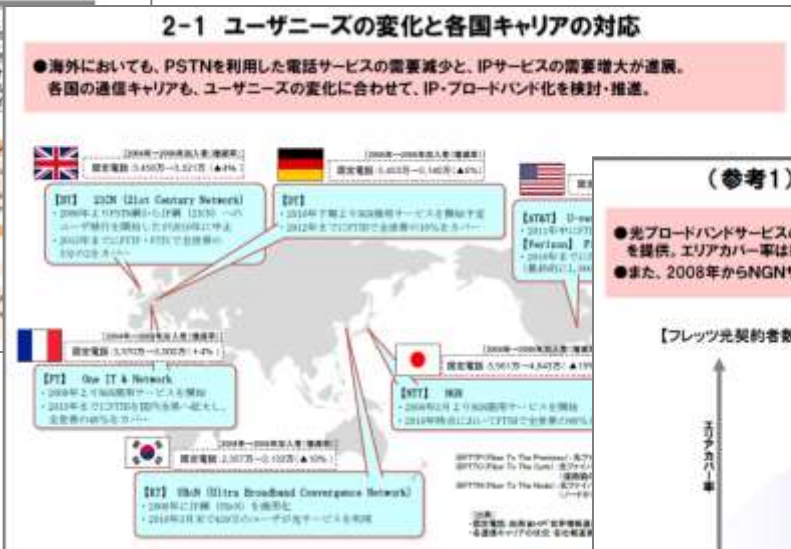
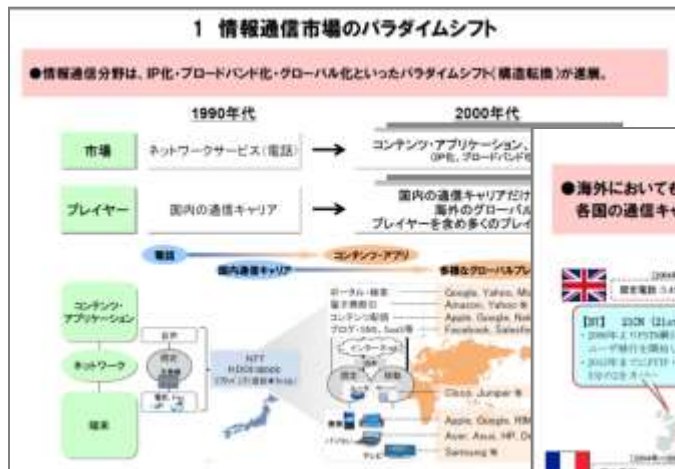
電話網(PSTN)からIP網への 円滑な移行について

2015年2月27日

東日本電信電話株式会社
西日本電信電話株式会社

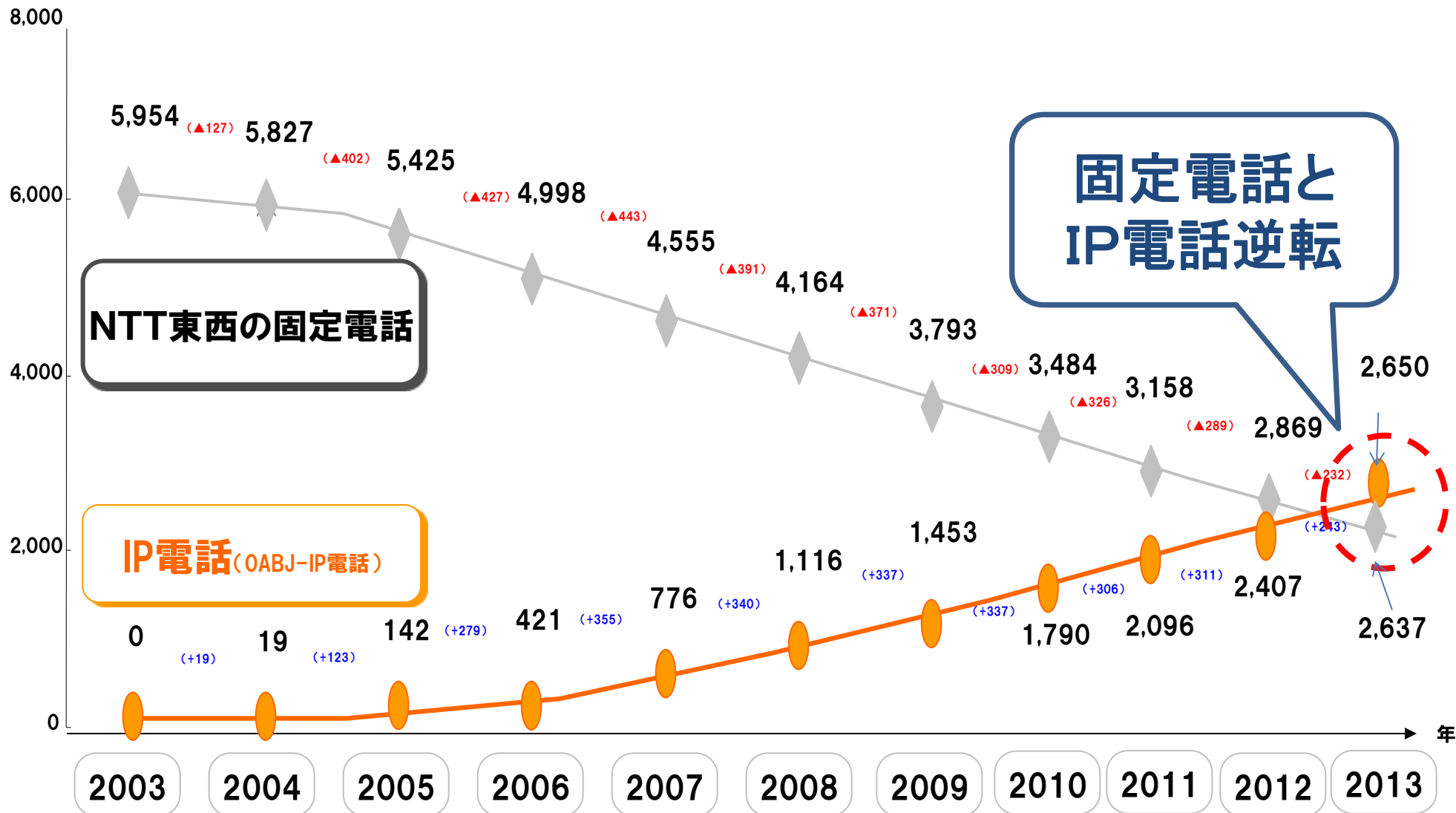
1. 電話網からIP網への移行に関する取組み

2010年11月 NTT西日本及びNTT東日本にて 「PSTNのマイグレーションについて ～概括的展望～ 」 を公表

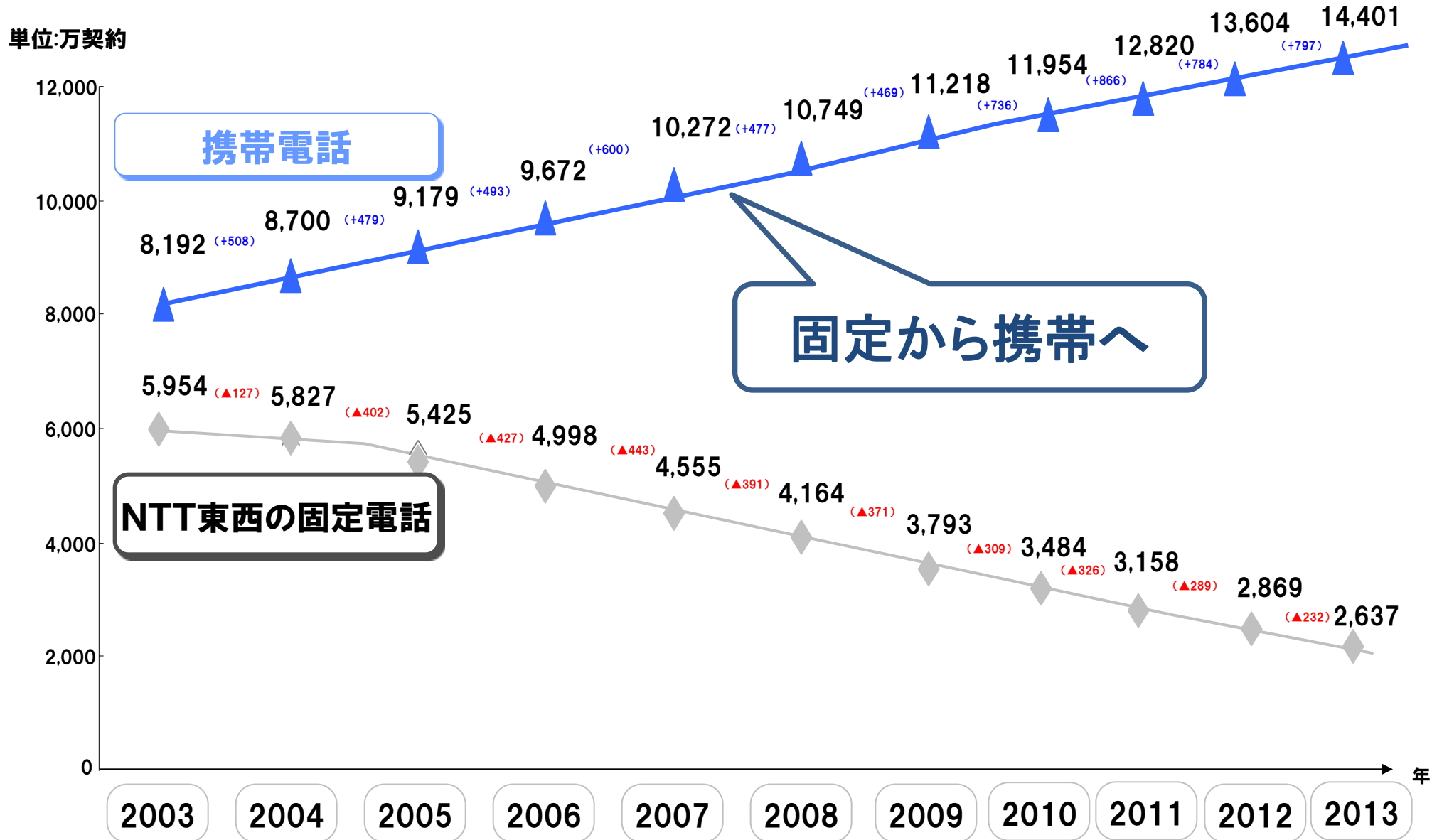


2. 固定電話を取り巻く環境①

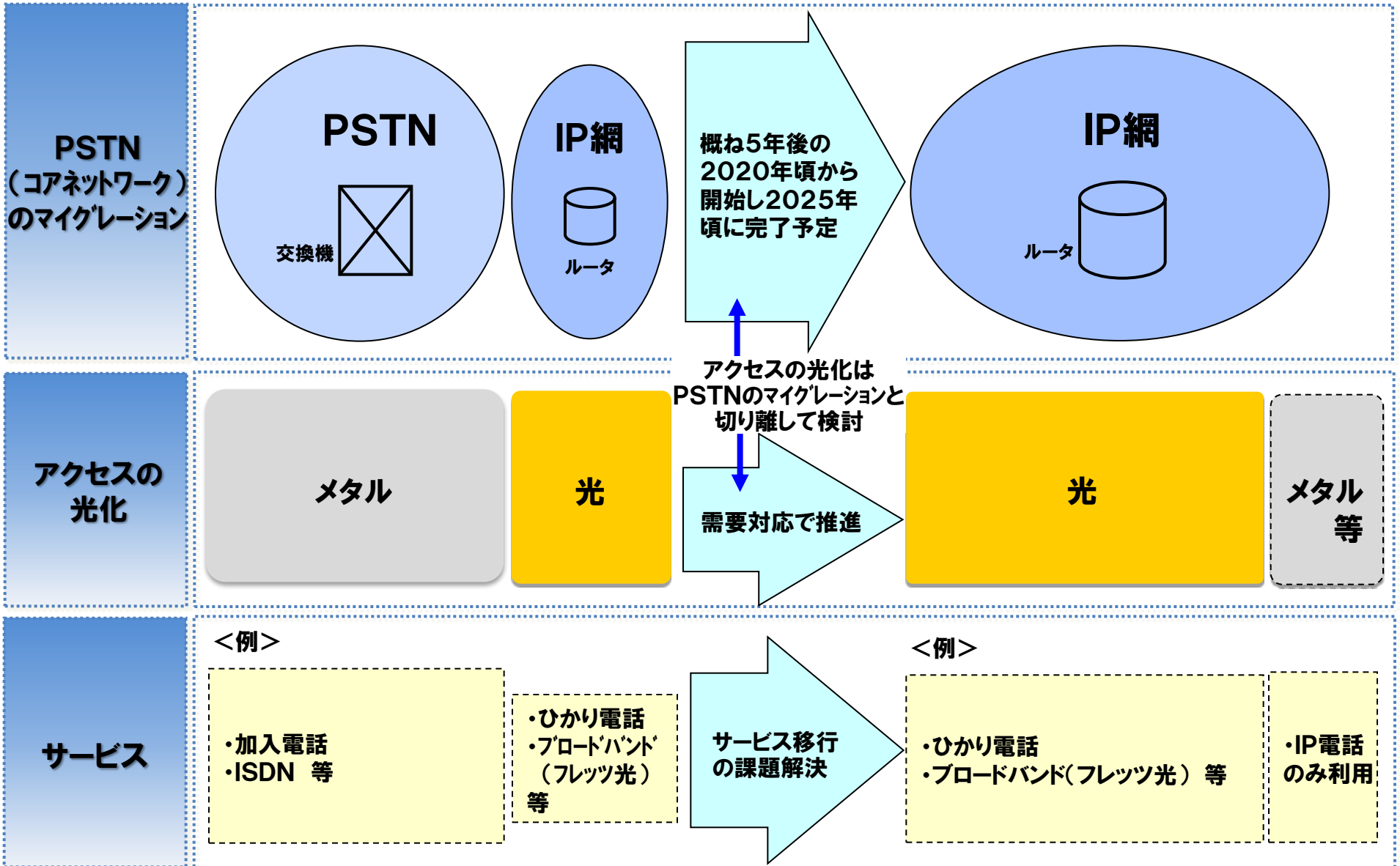
単位:万契約



2. 固定電話を取り巻く環境②



3. PSTNからIP網へ



4. ブロードバンド普及に向けたNTT東西の取組み①

実績

① コアネットワークのIP化とアクセスの光化の取組み

- コアネットワークのIP化に取組み、NTT東西の大半のエリアにNGN等のIP装置を設置済。
(ただし、全てのお客様を収容可能ではない)
- アクセスの光化にも取組み、光ブロードバンドサービスのエリアカバー率は約90%に拡大。
⇒需要対応でIP網へ移行させる素地は構築済。

② 教育・医療分野でのICT利活用に向けた取組み

- ブロードバンド環境とインタラクティブホワイトボードやタブレットPCなどの情報機器を活用した
新たな教育コンテンツ・アプリケーションの提供等、教育分野におけるICT利活用に向けた積極的な取組みを実施。
- フレッツフォンを活用した遠隔健康相談や保健指導を行えるシステムを提供する等、医療分野におけるICT利活用に向けた積極的な取組みを実施。

③ 使い易い端末の提供

- ゲーム機、電子書籍、タブレット等、多様化する無線端末に対応し、宅内、外出先でシームレスなブロードバンド環境を実現可能な「光ポータブル」を提供。
- また、ブロードバンド利用者の裾野拡大に向け、PCレスかつ簡単操作で、様々なコンテンツ・サービスが利用可能となる「光iフレーム」(東日本にて提供)を提供。

④ 利用者のICTリテラシーの向上

- リモートサポート等の安心して利用できるサービスの提供やネット安全教室の開催により利用者のICTリテラシー向上に取り組む。
今後も裾野の拡大に取り組んでいくとともに、アフターフォローのサポート体制を強化する。

今後

4. ブロードバンド普及に向けたNTT東西の取組み②

フレッツ光等を様々なサービス提供事業者様に卸提供する「光コラボレーションモデル」を、2015年2月1日(日)に提供開始

「光コラボレーションモデル」の提供開始について

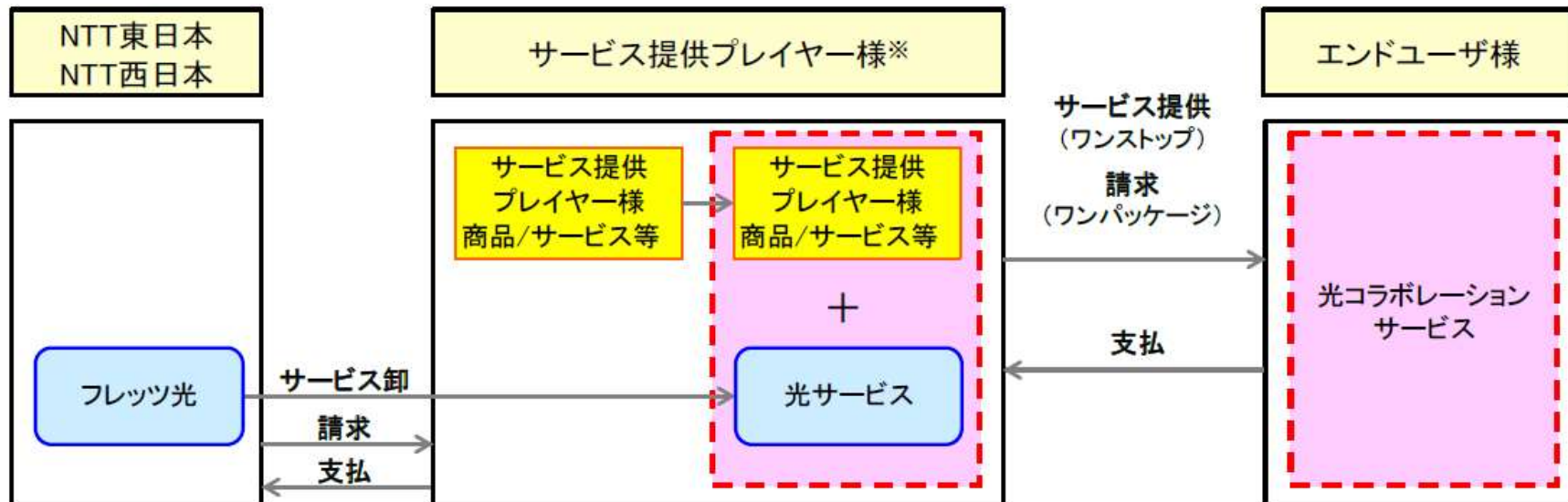
2015年1月22日
西日本電信電話株式会社

NTT西日本は、当社が提供しているフレッツ光等を様々なサービス提供事業者様に卸提供する「光コラボレーションモデル」を、2015年2月1日(日)に提供開始します。

また、「光コラボレーションモデル」の提供開始に伴い、現在フレッツ光及びひかり電話をご利用中のお客さまが「光コラボレーションモデル」を利用したサービス提供事業者様のサービスに移行する際は、「転用」手続き等により、ご利用環境を変更することなく移行できるようにいたします。

なお、「光コラボレーションモデル」の提供に際し、当社は、電気通信事業法、「電気通信事業分野における競争の促進に関する指針」等及び総務省が2015年1月20日(火)に公表した「NTT東西のFTTHアクセスサービス等の電気通信設備に係る電気通信事業法の適用に関するガイドライン(案)」を遵守する考えです。

※具体的な手続き等の内容については、別途ページにて当社ホームページ等でご案内いたします。

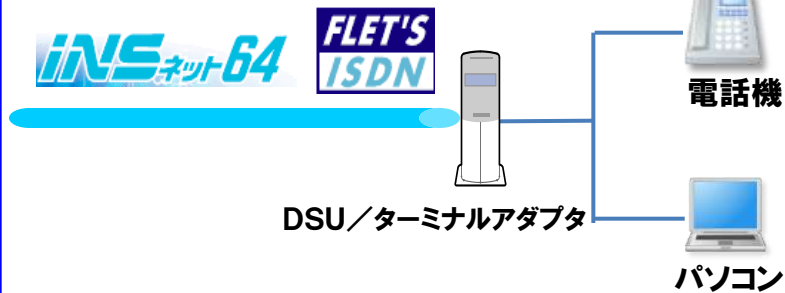


※サービス提供プレイヤー様は電気通信事業者である必要があります。

5. サービス移行のイメージ(INSネットの例)①

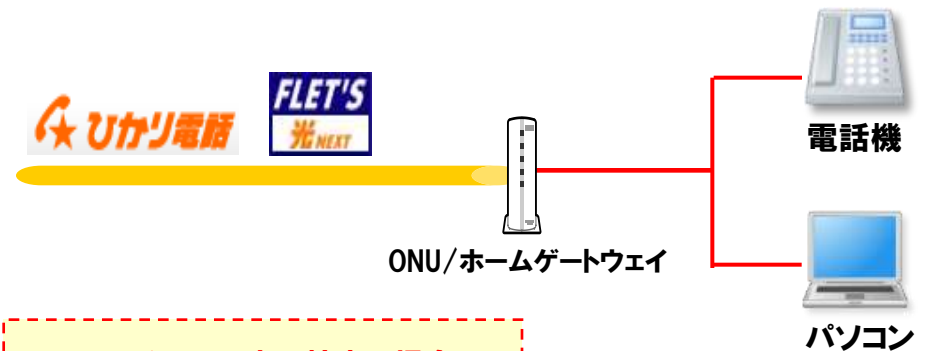
現状のご利用イメージ

ターミナルアダプタ(TA)の配下に
単体電話機とパソコンを接続



代替サービスのご利用イメージ

ホームゲートウェイ(HGW)の配下に
単体電話機とパソコンを接続



G4FAXやISDN専用端末の場合は、
端末取替等の対応が必要となります。

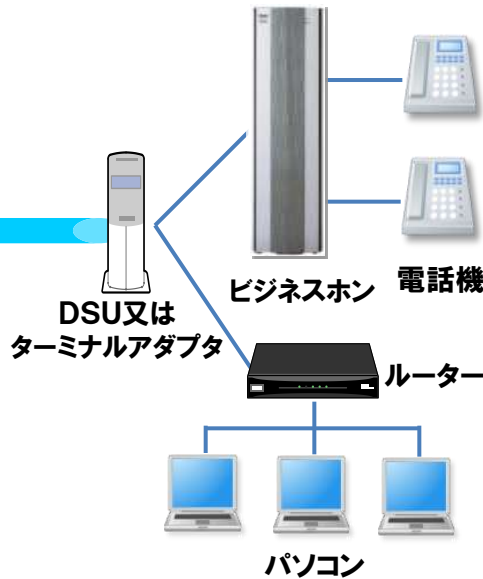
- ・IP(インターネットプロトコル)に変わること、通信プロトコルの集約や通信料低減によるコスト削減
- ・データの送信時間が大幅に削減され、物流コストの削減や発注から納品までのリードタイム短縮

5. サービス移行のイメージ(INSネットの例)②

現状のご利用イメージ

DSUやターミナルアダプタ(TA)の配下に
ビジネスホンとパソコンを接続

INSネット1500
INSネット64



代替サービスのご利用イメージ

オフィスゲートウェイ(OGW)の配下に
ビジネスホンとルータを接続



G4FAXやISDN専用端末の場合は、
端末取替等の対応が必要となります。

- ・IP(インターネットプロトコル)に変わること、通信プロトコルの集約や通信料低減によるコスト削減
- ・データの送信時間が大幅に削減され、物流コストの削減や発注から納品までのリードタイム短縮

6. ユーザニーズの変化に応じたサービスの扱い①

基本的な
サービス

基本的な音声サービス

+

公衆電話、110（警察）、118（海上保安）、119（消防）、
117（時報）、177（天気予報）、104（番号案内）、115（電報）
ナンバー・ディスプレイ、ナンバー・リクエスト、
迷惑電話おことわり、キャッチホン、ボイスワープ、
ボイスワープセレクト、フリーアクセス、#ダイヤル、代表、
ダイヤルイン 等

提供を継続

仕様変更や端末取替等の対応
が必要となる場合があります

6. ユーザニーズの変化に応じたサービスの扱い②

INSネット、ビル電話、着信用電話、支店代行電話、ピンク電話、有線放送電話接続電話、短縮ダイヤル、でんわばん、トーキー案内、キャッチホン・ディスプレイ、ナンバー・アナウンス、発着信専用、ノーリング通信 等

IP網での提供が困難なサービス
や

お客様のご利用の減少が見込まれるサービス

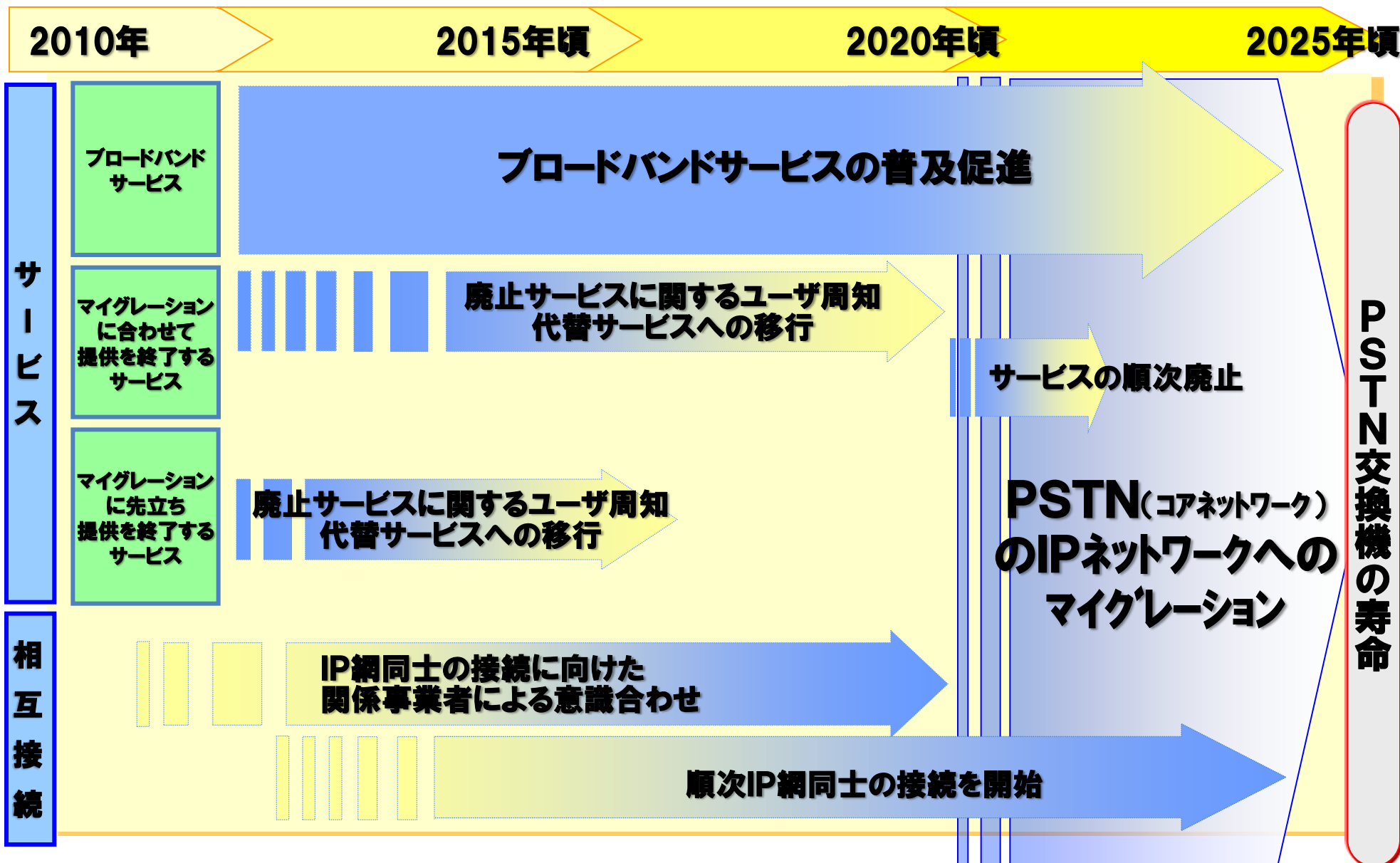
PSTNマイグレーションに 合わせて提供終了見込み

キャッチホンII、マジックボックス、ボイスボックス、信号監視通信、オフトーク通信、接続通話サービス（コレクト コール等）、ネーム・ディスプレイ*、ダイヤルQ2* 等

*箇所は既に終了

PSTNマイグレーションに 先立ち順次提供終了見込み

7. PSTN (コアネットワーク) のマイグレーションに向けたスケジュール



8. まとめ(お願い)

IP系サービスへの需要のシフト及びPSTN交換機の寿命等を勘案し、概ね5年後の2020年頃から、PSTNからIP網へのマイグレーションを開始し、2025年頃に完了を想定

PSTNからIP網へのマイグレーションにあたり、一部提供を終了するサービスが存在

業務等においてPSTNを利用されている場合は、
IP網を利用したサービス等への移行を早めに
ご検討いただければと存じます

本資料及び本説明における将来の見通しに関する記述・言明は、現時点における情報に基づいて展望したものです。今後の国内外の経済情勢や通信分野での技術革新、お客様ニーズの変化及び競争環境など様々な要素の変化により変更することがあり、その確実性を保証するものではないことをご了承ください。